

令和8年2月27日（金）  
GIGA StuDX推進チーム プチ学習会

# 先生に聞いてみた！ 多様な子供を支える端末活用

#多様性の包摂 #学びの保障

# 学びづらさを抱えている子供たち



授業についていけない子供が、  
不登校傾向にあります。

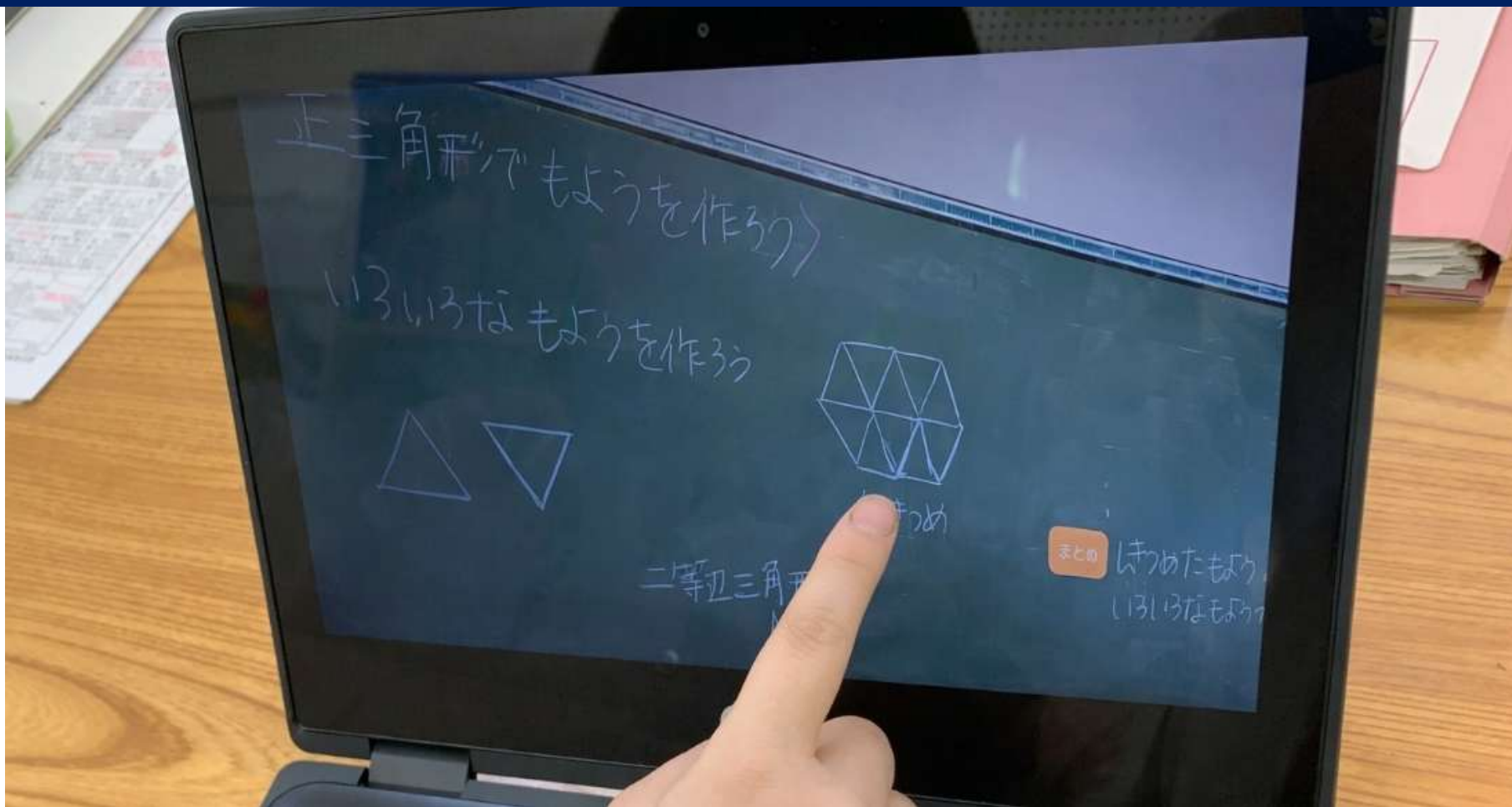
自分の考えを書く場面では手が止まって、  
時間がかかりがちなお子さんがいます。



子供自身も気付いていない  
学びづらさがある可能性

クラウド・端末活用によって  
多様な子供一人一人が学びやすい学習環境へ

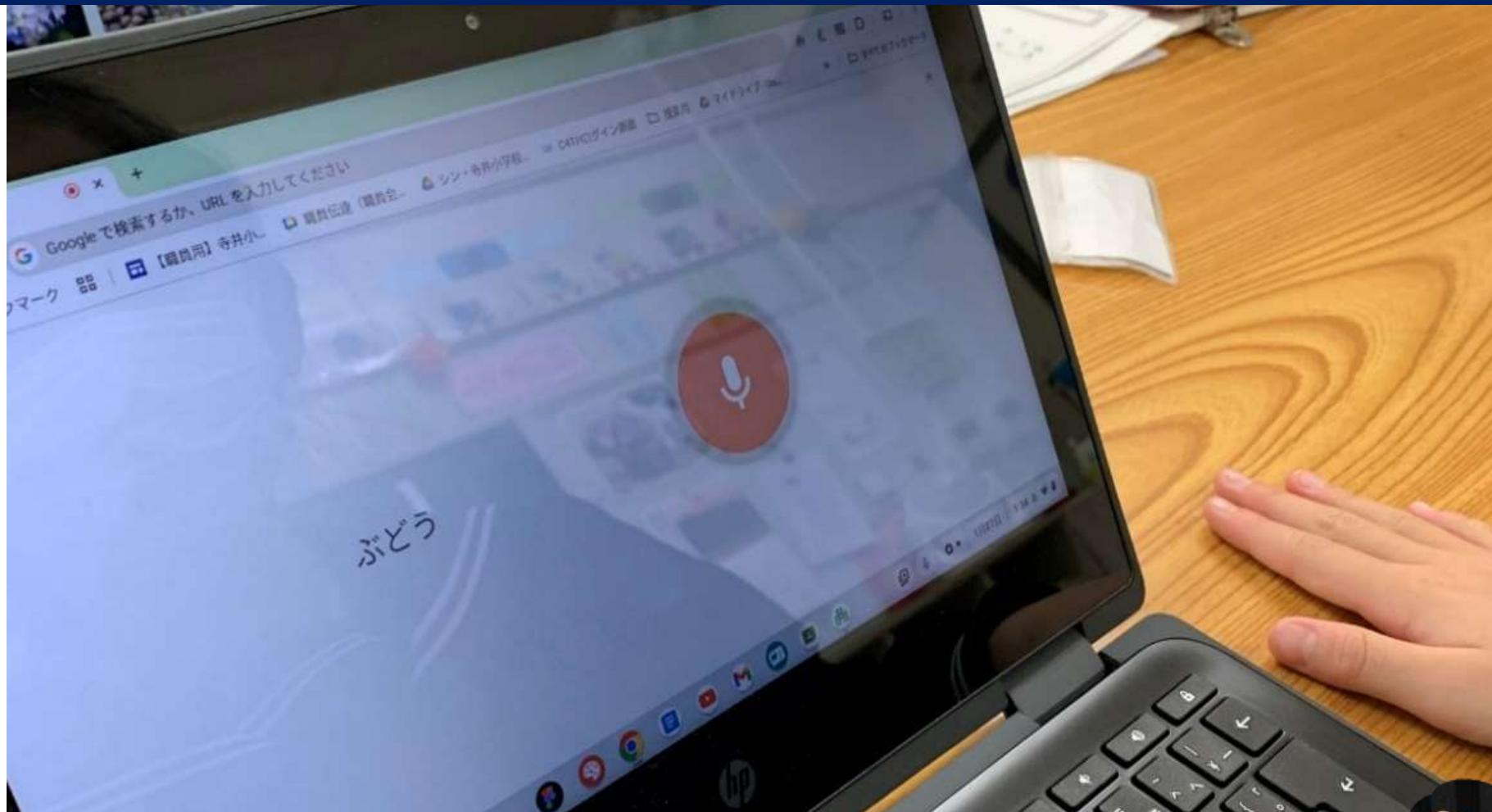
# 例えば、書くことに困難さのある子供の視点から



子供が必要なときに板書を撮影して、  
ノートの代わりにできるようにしています。



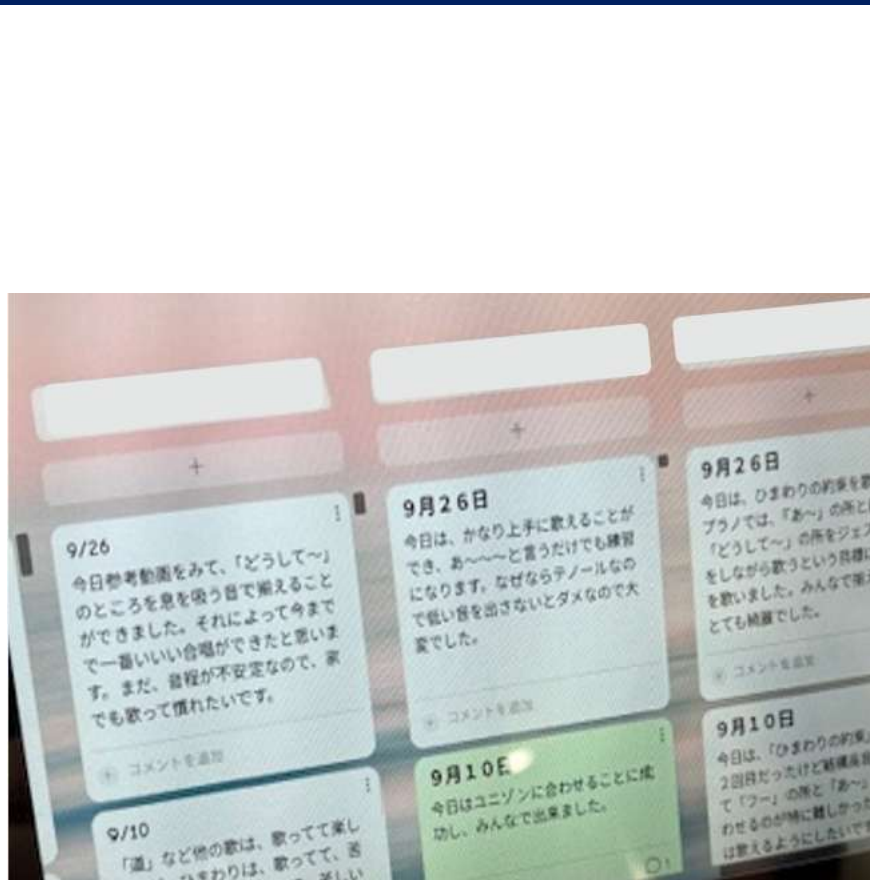
# 例えば、書くことに困難さのある子供の視点から



**子供が自分に必要な機能を選択して使うことで、  
学びやすさを実現したいと思っています。**



# 例えば、言葉でやりとりすることに 困難さのある子供の視点から



子供自身が安心して参加できる環境を整えたいと考え、クラウド活用をしています。



# 例えば、聞くことに困難さのある子供の視点から



音声に加えて、資料をクラウドで視覚的に確認できるので、学習活動に参加しやすくなります。



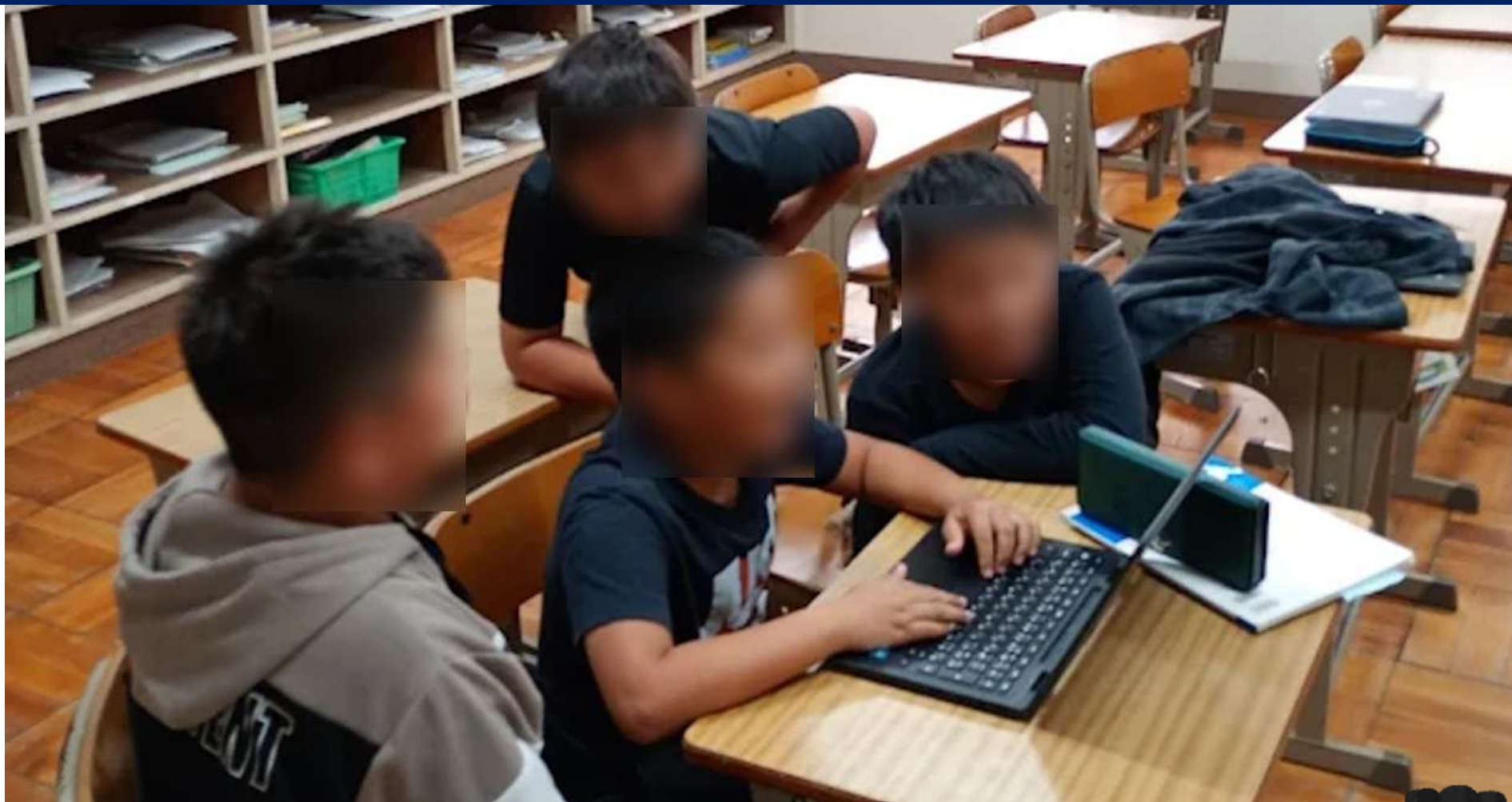
# 例えば、聞くことに困難さのある子供の視点から



場面に応じて、情報を得る方法を  
自分で選択できるように指導しています。



# 例えば、外国にルーツのある子供の視点から



写真や画像を使うと言葉を補えるので、  
コミュニケーションをとりやすくなったようです。



# 多様な子供の学びを支える先生の校内連携



**教材や子供の成果物をクラウド共有し、学習進度等の情報交換をチャットで行うことで、学級の学びとつないでいます。**



# 例えば、別室で学ぶ子供を支える視点から



クラウドでつながることで、子供が「あ、僕と一緒に  
だ」と感じ、前向きに学習に参加しています。



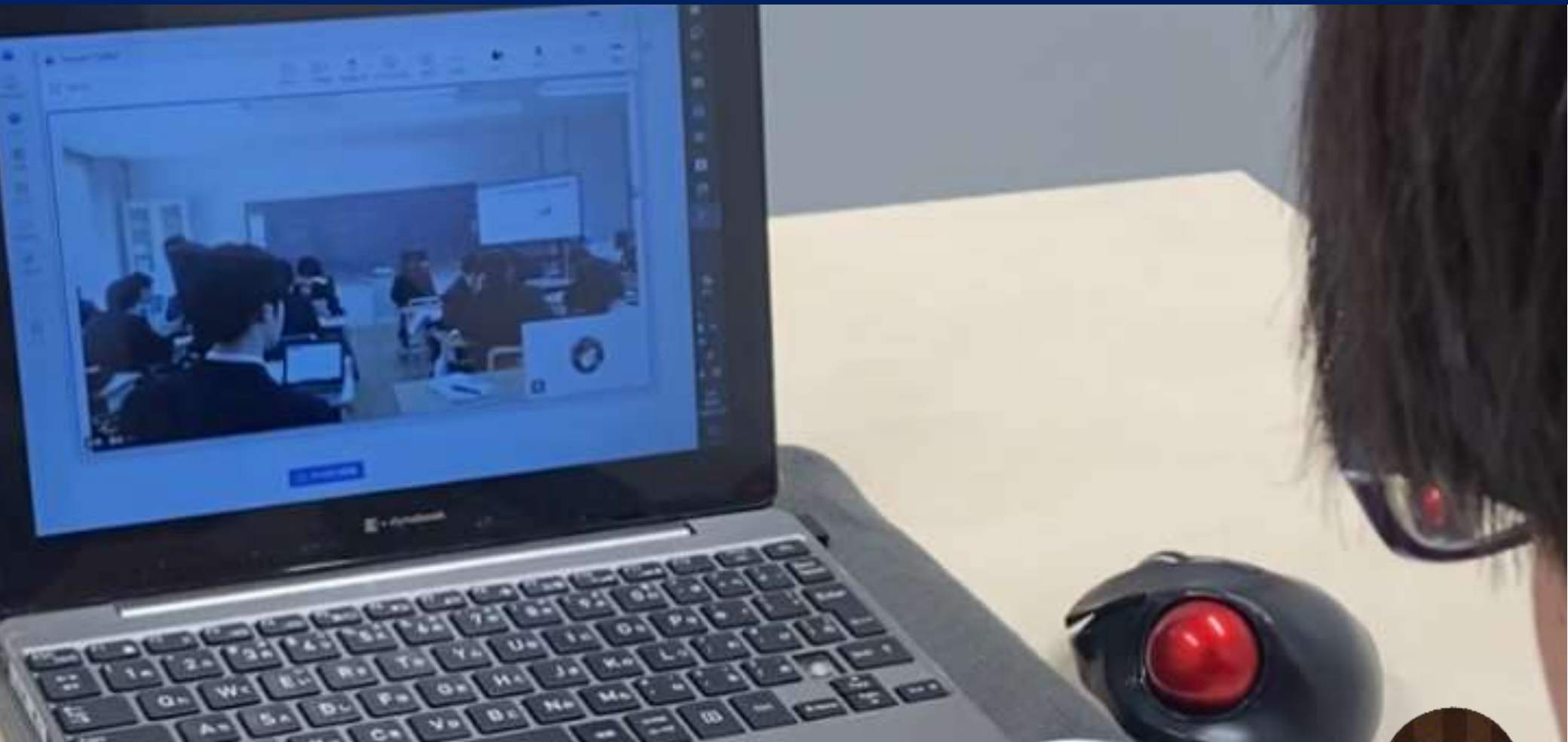
# 例えば、別室で学ぶ子供を支える視点から



学級の授業でも、クラウド活用によって友達の考えを参考にしやすくなりました。



# 例えば、別室で学ぶ子供を支える視点から



どこからでも、学級の子供とつながれることが、  
子供の不安をやわらげているようです。



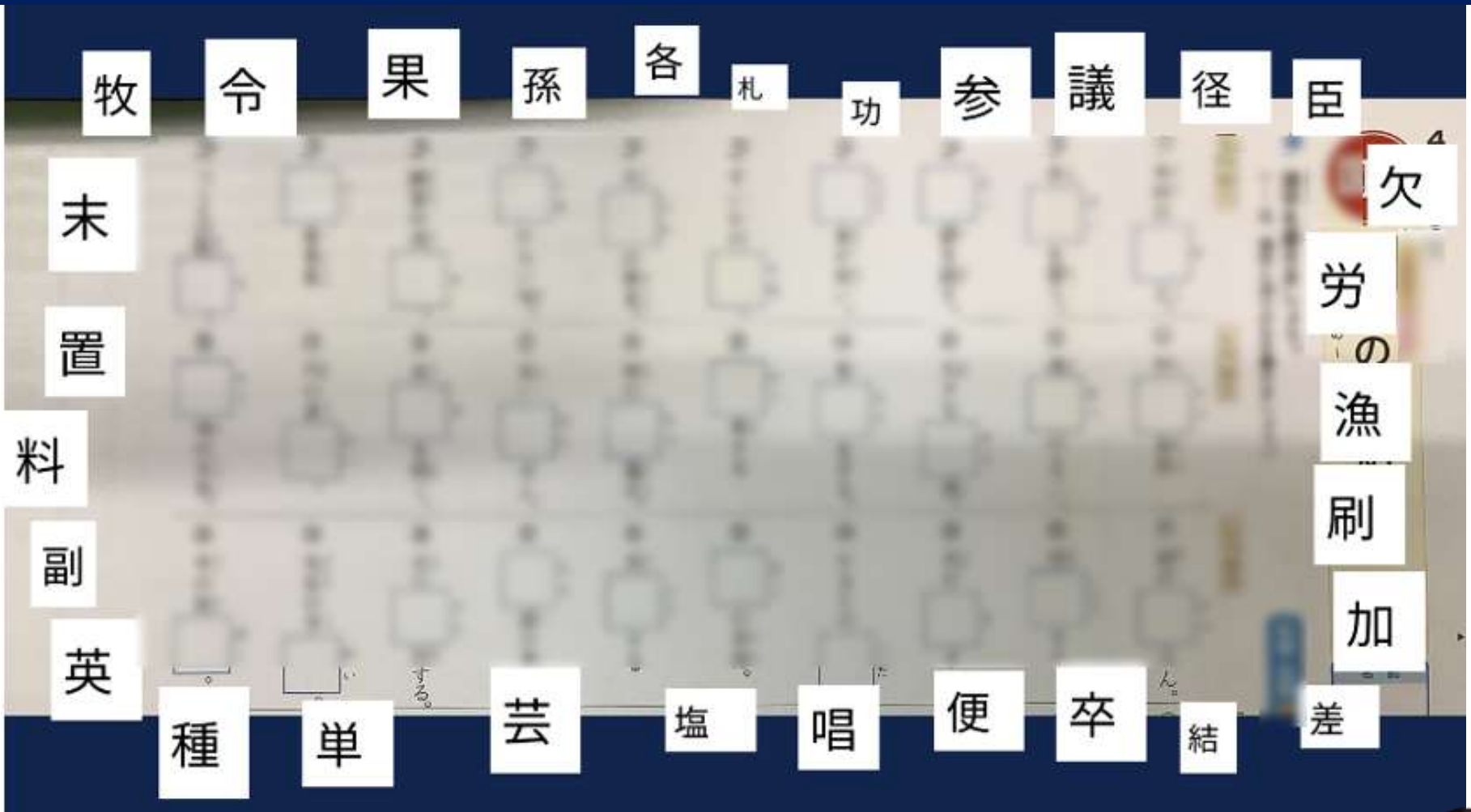
# 学校全体の取組として



学習会で得た知見を授業へ取り入れ、  
授業での手ごたえや子供の様子をチャットで  
共有しています。



# 学校全体の取組として

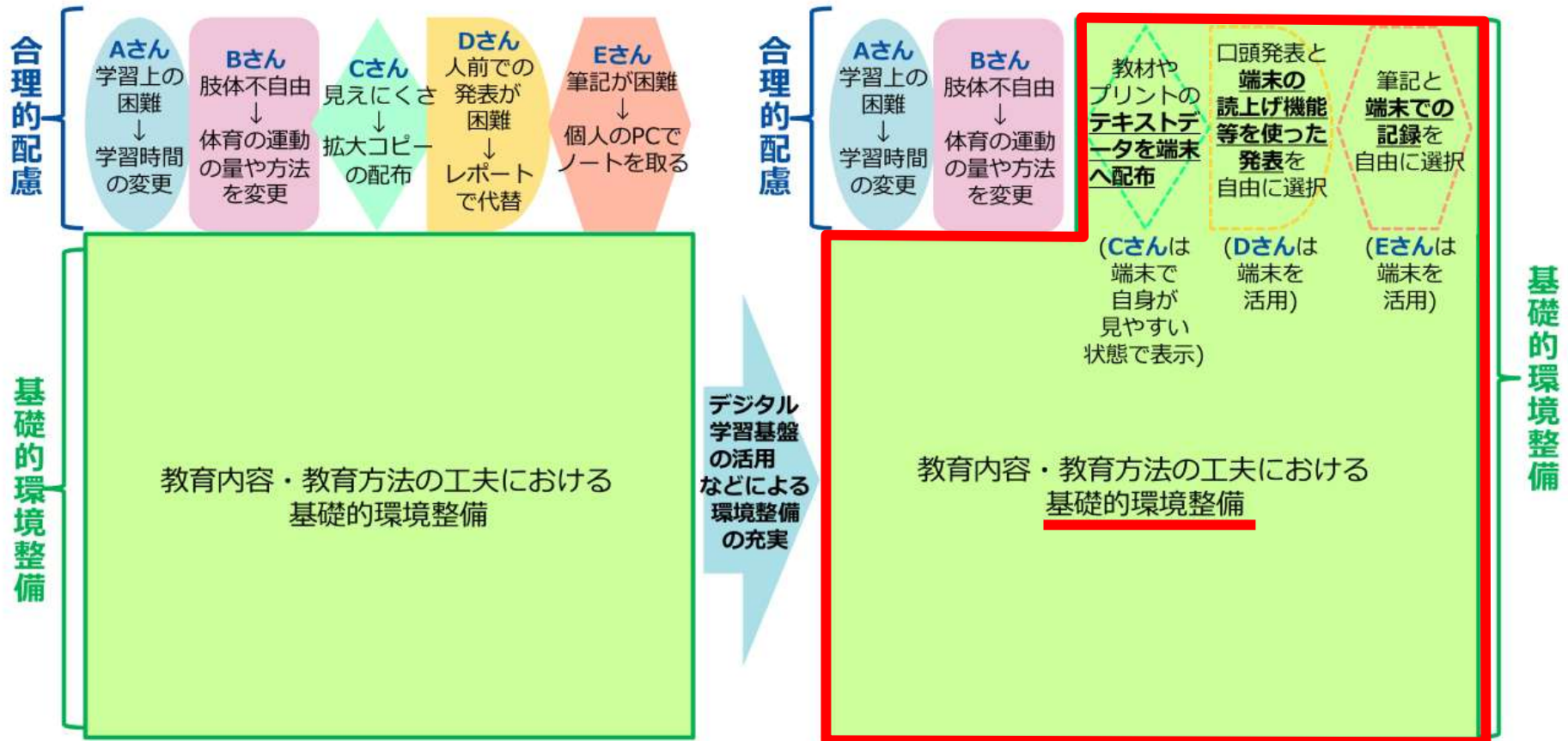


どのような「学び方の選択肢」があると  
子供が学びやすいかを考え、授業づくりをします。



## デジタル学習基盤の活用などによる基礎的環境整備の充実と合理的配慮の関係（イメージ）

従来、児童生徒への個別の合理的配慮として提供する必要があった支援の中には、1人1台端末などの活用によって誰でも選択可能な学習方法となり得るものもあり、デジタル学習基盤の活用は合理的配慮の前提となる基礎的環境整備の充実に、特に不可欠なものと考えられる。



# お話を伺った学校の取組より

多様な子供一人一人が学びやすい学習環境を  
クラウド・端末活用によって可能にする

**「自分に合った学び方」を  
獲得してほしい**



# ご協力いただいた学校

**新潟県・新潟市立鏡淵小学校**

**新潟県・新潟市立白新中学校**

**石川県・能美市立辰口中央小学校**

**石川県・能美市立寺井小学校**

**茨城県・つくば市立みどりの学園義務教育学校**

**静岡県・吉田町立中央小学校**

**高知県・香美市立香北中学校**

ご協力いただきました学校の先生方、  
ありがとうございました。